

**調査項目 ④「都市公園における事故情報の把握と損害賠償」に関する調査研究**

**調査年次** 平成29年度（9次調査）

**目的**

近年、古くなった遊具に起因する事故や、大木や老木などによる落枝、倒木による事故などが見られるようになってきている。都市公園内における管理瑕疵等による損害賠償案件は事例が乏しく参照事例の蓄積は極めて有効であることからその事例を収集し、過去調査を整理し各市の取り組み状況の変化を把握する。さらに、保険会社等から施設賠償保険の公園緑地への適用等について調査し、損害賠償と製造物責任との法的分担などについても整理する。

また、新たに導入される「市民緑地認定制度」において発生した事故等について、その責任の所在の在り方についても検討することを目的とした。

**概要**

以下の内容について調査を行った。

- ①都市公園等における損害賠償事例調査
- ②施設賠償保険の適用等に関する可能性
- ③損害賠償における瑕疵責任と製造物責任との法的分担の整理
- ④公園樹木による被害を未然に防ぐための対策事例について
- ⑤都市公園内の事故対策に係る考察

**結果**

- ①都市公園等における、管理瑕疵等による事故及び損害賠償事例について収集整理した。
- ②保険会社等へのヒアリング調査により、施設賠償保険の公園緑地への適用等に関する可能性について把握した。
- ③過去の裁判例の調査、弁護士等のヒアリングにより瑕疵責任と製造物責任との法的分担を整理した。
- ④過年度の報告書整理や、各市の取り組み状況の変化を把握することにより、公園樹木による被害を未然に防ぐための対策事例について収集した。
- ⑤都市公園において、事故事例に見られる管理瑕疵の傾向を把握し、事故発生の未然対策のあり方を考察するとともに、公園施設に係る効果的な賠償保険のあり方について課題を整理した。

**課題**

都市公園等における事故への対策として、どの視点を重視するかにより強化すべき点は異なる。重視される視点（事故を起こさない、示談交渉の負担軽減、示談金の軽減、裁判への備え）のどれかひとつの視点を採用するのではなく、複合的に実施していくことが重要であることがわかった。

**調査結果の反映等**

**キーワード**

損害賠償、瑕疵責任、製造物責任、事故事例、安全対策

**事例公園等**

全国市長会市民総合賠償補償保険、施設賠償補償保険、神戸市「公園あんぜん教室」